



CCC

コミュニティ・
コラボレーション
センター

活動報告



2006年9月に開設されたコミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを受け継ぎ、「地域に根ざし、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行なっています。学生が地域の方々と共にさまざまな活動に取り組み、「体験」や「実感」を通して社会に貢献できる人へと大きく成長していく。そんな生きた学びに力を注ぎ続け、2011年9月で5周年を迎えました。

CCC開設5周年記念セミナー

第2部・交流会では、11の学生団体が手作りのポスターを使って活動内容や今後の目標などを熱く地域の方々へ語っていました。さらに、地域の方同士が交流を深める姿も見られ、新たなつながりが次々と生まれる有意義なひとときでした。



第2部 交流会



第1部 報告会

第1部・報告会では、CCC開設科目の報告、大学祭実行委員会の地域との繋がり、そしてCCC学生スタッフによる活動報告と卒業生の振り返りの発表を行いました。身近なところから、進めてきたことから、楽しみながら進めてきた学外でのさまざまな取り組みが、多くの学生、そして地域の方々の共感を呼び、新しい活動へどんどん広がりが続ける。そんな「人とのつながり」のあたたかさ、力強さを感じさせる学生・卒業生たちのイキキとした報告を受け、参加者の皆さんは惜しみない拍手を送ってくださいました。



10月14日(金)、星が丘キャンパスにて「CCC開設5周年記念セミナー」が開催されました。CCCの取り組みにご理解・ご協力いただいている地域の方々約150人がご参加くださり、地域と共に歩んだ5周年を振り返りました。



学生スタッフによる記念絵画

学生の実践力を育む「教育」

「コミュニティ・サービスラーニング」

(I) まちづくり
長久手町内の小学生と世界共通の絵文字を使った環境マップ「グリーンマップ」作成



(V) 日本語学習支援

在住外国人の子ども達のための日本語教材作成の様子



地域の社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、地域社会の人々と積極的に関わったり、また地域社会を取り巻く問題やその解決を見出したりと、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

(IV) 地域福祉

NPOかわせみの皆さんと交流する様子(障がい支援)



学生の自主活動を支える「支援」

「規格外野菜のスイーツ開発」



学生発案スイーツの試食会

学生一人ひとりが持つ活動への意欲や思いを大切に、学外のみならずさまざまなコミュニティとの出会いをコーディネートしながら、学生自ら活動の幅や人との輪を広げていけるよう、後押しをしています。

「バングラデシュからのメッセージ」



「貧困と女性」について考えるワークショップ

「東日本大震災支援」



愛知県に避難されている方との交流

チャレンジファンド2011



地域で防災を考える(コミュカフェ)



学内コンペの様子

CCCでは、2009年度より、本学学生の社会貢献活動を助成する「チャレンジファンド」を設けています。各学生・グループが自ら企画した活動内容を公開コンペでプレゼンテーションし、そのプレゼンを受け、地域のニーズに応える活動や社会的に意義の高い活動に対して資金面での応援をしています。今年度は11団体が助成対象となりました。子どもの教育サポート、福祉貢献、震災支援、国際協力環境活動など、各団体が独自の活動を展開しています。